

令和7年度 経過報告

第44回定期総会を昨年8月に開催してから1年が経過し、本日ここに第45回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をするため開催するものであります。

2025年10月の高市内閣の発足後、台湾有事をめぐる発言が、中国との関係を更に険悪にし、今年に入って2月にアメリカとイスラエルによるイラン攻撃に端を発した軍事衝突、とりわけホルムズ海峡の事実上の封鎖により、原油価格の高止まり、海上輸送の遅延が続き、建設資材の供給体制は深刻な影響を受けています。住宅建材・設備などの価格は高騰し、一部では調達そのものが困難となり、納期の見通しすら立たない状況が生じています。また、物価高騰の波は依然として続いており、賃金の上昇が追いついていないのが現状です。そのような状況下ではありますが、「第三次・担い手3法」の建設労働者の処遇改善や働き方改革に関する根幹規定が2025年12月に全面施行されました。支部においては組織拡大行動の一環として、宣伝カー、ホームセンターでの拡大宣伝物配布行動、組合員宅訪問、事務所訪問など、組合員、役員、職員が一丸となって奮闘し、春の拡大月間中は本部割当33名に対して、24名の加入者がありました。しかし、1年

を通して脱退者、除籍者が99名と加入者の65名を上回り、昨年5月末の組織数を35名下回る1,400名で7年度を終えました。

地元国会議員に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の見直し及び負担軽減措置の延長を求める要求書、建設国保の予算確保と育成強化を求める要請行動を行いました。

また、厚生労働省や財務省に対して国保組合の予算獲得に向けたハガキ要請行動の実施、全建総連、県連、及び本部からのアンケート等にも協力してきました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場に立って本部とともに取り組んできました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員の方々に心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

組 織 部

1. 部会を5回開催し、組織部のコミュニケーションを深め、組織拡大に取り組みしました。
1. 本年も組織の拡大に向けて、現場訪問やホームセンター5店舗を交互に宣伝物の配布を毎月行いました。
1. 拡大推進委員会を10月1日と2月24日の年2回開催し、拡大運動に向け

た行動を具体的に討議しました。

1. 支部・分会組織活動者会議を4月5日に開催し、分会組織の充実、強化に向けた取り組みをしました。
1. 10月2日、4月15日に拡大宣伝カーで支部管轄区域を巡回し、計52の工事現場で120人と対面しました。
1. 住技対部と合同部会を行い、1月25日青年技能講習対象者宅へ家庭訪問をしました。
1. 税金申告相談会場にて、組合についてのアンケート調査を実施しました。
1. 秋および春の拡大月間において、支部・分会役員が2人一組で、事業所訪問と組合員宅戸別訪問を実施しました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の5名です。

又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた方に感謝状を贈呈して感謝の意を表しておりますが、今年度該当者はありませんでした。

令和7年度拡大功労者

(R7.6～R8.5加入分)

氏 名	分 会
棚 窪 松 男	立花南
川 本 秀 昭	立花北
吉 岡 秀 之	大 庄
戸 田 敦	中 央
柳 川 伸 也	伊丹南

(敬称略)

役員表彰者

氏 名	分 会
該当者なし	

教 宣 部

1. 部会を1回開催しました。
1. 支部機関紙は新年号・健診号外を含めて年8回発行しました。
1. 機関紙には組合員・ご家族の登場・原稿を掲載し親しみの湧く機関紙づくりに努めました。
1. 拡大月間には拡大行動の写真を中心に紙面を構成し、組合員さんに拡大行動の協力を依頼しました。
1. 本部主催の教宣学習会はありませんでした。
1. 支部教宣実務学習会を12月21日に開催し、9名の参加がありました。
1. ホームページの更新を毎月行いました。
1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

税 対 部

1. 1月23日、税金決算記帳講習会を開催し、14名の出席がありました。
1. 2月9日中小企業センター、2月28日伊丹ホールにおいて税金申告相談を2回行い、合わせて67名の参加がありました。
1. 部会を1回開催しました。

賃 対 部

1. 賃対部会を4回開催しました。
1. 2月1日の県連賃金討論集会に支部より1名が参加しました。
1. 3・25統一行動は12名参加して小田分会方面を中心に4月19日ポケットティッシュ及び拡大宣伝物（2,400部）の配布活動を実施しました。
1. 家計簿調査と賃金アンケートを本部の要請で実施し、賃金実態を把握し、生活の向上に努めました。

住技対部

1. 部会を1回開催しました。
1. 3月24日の支部本部合同住技部会に参加しました。
1. 技能講習会の参加者はありませんでした。
1. 組織部・住技対部合同部会を行い、1月25日、家庭訪問を実施し、技能講習の案内をしました。

社保対部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が少なくなるように組合でも全建総連中央決起大会参加及び請願書・ハガキ要請行動などを通じて努力してきました。
1. 新加入者説明会を原則毎月2日に実施し、組合活動や建設国保に対する認識及び、保険料等の納付について

の説明を行い滞納のないように努めてきました。又未加入者の紹介のよびかけもあわせて、新加入者アンケートに協力していただきました。

1. マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対する手続き関連、その他について、支部役員の研修会を行い、また各分会11会場で順次説明会を開催しました。
1. 補助金現行補助水準確保・拡充のための財務省・厚生労働省に向けての要請ハガキ行動に取り組みました。
1. 4月19日に健康教室を開催しました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、令和7年5月現在で230件です。新加入者集会にて、加入をすすめてきました。

青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月開催される青年部幹事会に出席し指導してきました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してきました。
1. 青対部会を1回開催しました。
1. 4月に行われた青年部のレクリエーションにも参加し、協力してきました。

財政について

1. 令和7年度収支決算書（別紙の通り）
1. 令和7年度決算において、剰余金が出たので別紙のとおり処分します。